

スポーツ山形



(財)山形県体育協会

第67回 国民体育大会スキー競技会 ぎふ清流国体

成年男子A 山科 博史

アルペン大回転 優勝

少年男子 小原 健汰

一年を振り返って

財団法人山形県体育協会

会長 金森義弘



東日本大震災が発生してから早一年が経ちましたが、被災地においての復興にかかる道のりは厳しく、被災された方々の生活が一日も早く安定されることを祈り申し上げます。

このような中、本県の多くのアスリートや競技団体・スポーツ関係者の皆様が「がんばろう東北、がんばろう日本」と、被災された方々への物心両面での支援に動き、様々な形で積極的に取り組んでいただいたことに対して、心から感謝する次第であります。改めてスポーツのもつ意義と素晴らしさを実感したものであります。

さて、この一年を振り返ってみますと、第六十六回国民体育大会は、初の決勝進出となった少年女子バスケットボールの準優勝をはじめ、カヌー競技の活躍などにより昨年と同様三十五の入賞がありました。男女総合成績は第四十二位と大変厳しい結果となりました。しかしながら、年が明けて第六十七回国民体育大会の幕開けとなる冬季スケート競技会では、べにばな国体に迫る大躍進がみられましたし、スキー競技においても優勝二つを含めて昨年に上回る成績を収め、本大会に向けて大きな弾みをつけていただきました。

また、今年度は中高生の活躍が多数みられ、全国高校総体カヌー競技での谷地勢の三種目優勝や全国中学総体での水泳陣の優勝・入賞ラッシュ、さらには山形商業高校女子バスケットボール部の全国高校選抜優勝大会での国体に続く準優勝など、若い力の躍進により県民に明るい話題を提供していただきました。

生涯スポーツでは、総合型地域スポーツクラブの推進状況も、「創設と育成」の段階から「真の自立と活発化」を目指す第二段階に移行します。誰もがライフステージに合わせて参加できる生涯スポーツ社会の実現に向けて、「県民総スポーツの普及振興」に継続的に取り組んでまいります。

県スポーツ少年団も平成二十五年には五十年を迎えます。少子化に歯止めがかからず、社会の変革とともに子どもたちを取り巻く環境も日々変化している中、スポーツを通じて青少年の健全な育成を推進しているスポーツ少年団への期待は、大きなものがあります。

来年度は、本協会がこれまで準備を進めてまいりました新公益法人に移行しますし、一べにばな国体」が本県で開催されてから丁度二十年が経過するという節目を迎えます。未来に向けた本県スポーツの新たな飛躍へのスタートの年とするため、新規事業を計画しているところであり、皆様方には引き続き本県スポーツの振興と発展にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

山形銀行ライヤーズの活躍

23年度は、福島雅人ヘッド・コーチを新たに迎え、選手12名の新体制でスタートしました。

主要四大会での優勝を目標に臨んだ一年でしたが、10月に行われた『国体』では東京都に敗戦し、ベスト8位。11月に行われた『社会人選手権大会』では、秋田銀行に敗戦し準優勝と、思うように結果が出せず、チームが停滞する時期もありました。



しかし、悔しさをバネに臨んだ1月の『オールジャパン』では、WJBL 2位のトヨタ自動車を相手に敗戦したものの、力を出し切ったのベスト16。シーズン最後の大会である、『全日本実業団選手権大会』では、チーム全員が、高い集中力でハイパフォーマンスを見せ、チーム力で4年連続の優勝を勝ち取りました。

新ヘッドコーチを迎え、不安と期待の交錯する中走り続けた一年でしたが、選手一人ひとりが自立して、バスケットボールに取り組むことができたシーズンとなりました。

また、地域貢献活動として継続しているクリニック（バスケットボール教室）も充実した活動を行い、本年度は400名を超える小中学生と、バスケットボールを通して交流を深めることができました。

来シーズンこそは、悲願の四冠達成を果たすべく、更なるチーム体制の強化に取り組みながら、地域貢献にも力を入れ、より充実した活動を行って参ります。

最後になりますが、皆様方より賜りましたご支援とご声援に、心より感謝申し上げます。

新たなスタート ～新監督を迎えて～

モンテディオ山形の挑戦

今シーズンのモンテディオ山形は、鹿島アントラーズで長年コーチを務めた経験を持つ、奥野僚右監督をはじめとする新体制となりました。選手も実力がある7名が新加入し、J2へ舞台を移して戦います。選手それぞれの持ち味、良い所を結び付けて、それをより大きな力に変えて、ダイナミックで攻撃的な、前向きなプレー



©SPORTS YAMAGATA21

で先手が取れるチームを目指します。また、昨シーズンは悔しい結果となりましたが、一方で反則ポイントの少ないチームに贈られる「フェアプレー賞」を3年連続で受賞しました。今シーズンもマナーの遵守、フェアプレー精神を重視するチームで、1年でのJ1昇格を果たすことへ全力を注ぎます。今季のクラブスローガンは「連（連動・連携・連結）」です。J1での3年間の知恵と経験を繋げ、連動した粘り強い闘いを展開し、クラブ内、チーム内、サポーター同士が、それぞれ互いに連携し、勝利を目指します。そして、地域の皆さまやサポーターの皆さまと共に、全てが連結し、感動と歓喜を共有していきます。ぜひ、スタジアムでモンテディオ山形へ熱い声援を送って下さい。

第67回国民体育大会冬季大会成績

男女総合成績 12位 (125点)

●スケート・アイスホッケー競技会 男女総合16位 (61点)
●スキー競技 男女総合6位 (64点)



▲ジャンプ成年男子A 佐々木悠兵



▲大回転成年男子C 瀧澤 宏臣

▼成年女子A
5kmクラシカル
矢口小百合



▲少年男子500m 中尾 光杜



▲少年男子5,000m 一戸誠太郎

写真提供
山形新聞社

◆冬季国体スキー・スケート県勢の入賞者

順位	競技名	種別	種目	選手名	所属
1位	スキー	成年男子A	ジャイアントスラローム	山科 博史	丸光建設工業
	スキー	少年男子	ジャイアントスラローム	小原 健汰	日大山形高校2年
2位	スキー	成年男子C	ジャイアントスラローム	瀧澤 宏臣	日建総合SC
	スキー	成年女子A	クロスカントリー	矢口小百合	山形県体育協会
3位	スケート(スピード)	少年男子	500m	中尾 光杜	山形中央高校3年
	スケート(スピード)	少年男子	1,000m	中尾 光杜	山形中央高校3年
	スケート(スピード)	少年男子	5,000m	一戸誠太郎	山形中央高校1年
	スキー	成年A	スペシャルジャンプ	佐々木悠兵	日本空調サービス
4位	スケート(スピード)	成年男子	1,500m	森永 一帆	早稲田大学3年
	スケート(スピード)	少年男子	1,000m	ウィリアムソン師門	山形中央高校1年
	スキー	女子	フリーリレー	三浦 友維・石山穂菜美 矢口小百合・須藤 千郁	山形県選抜
	スキー	少年男子	フリーリレー	小沼 大樹・荒木 智史 渋谷 洋佑・東海林翔太	山形県選抜
5位	スケート(スピード)	少年男子	1,500m	高石 悠斗	山形中央高校1年
6位	スケート(スピード)	少年男子	10,000m	青山 航大	山形中央高校1年
	スケート(スピード)	少年男子	500m	坂本 永吉	山形中央高校2年
7位	スケート(スピード)	少年男子	10,000m	一戸誠太郎	山形中央高校1年
	スキー	成年女子A	クロスカントリー	須藤 千郁	日本大学4年
	スキー	成年男子	フリーリレー	杉沼 聖平・三浦 史敬 原田 健人・高橋 哲也	山形県選抜
8位	スキー	成年男子B	スペシャルジャンプ	鈴木 康哲	東北警備保障
	スキー	成年男子C	ジャイアントスラローム	生田 秀治	みちのく村山農業共同組合
	スケート(スピード)	成年男子	1,500m	小田 卓朗	早稲田大学1年
9位	スキー	成年男子A	ジャイアントスラローム	結城 智裕	東海大学2年

体育協会表彰

て県庁講堂で執り行われました。



殊 勲 賞

種 目	氏 名	所 属	主 な 成 績
スピードスケート	小田 卓朗	早稲田大学 1 年	第18回全日本スピードスケート距離別選手権大会 男子 1500m 優 勝
"	一戸誠太郎	県立山形中央高校 1 年	第 1 回ユースオリンピック冬季競技大会 男子 1500m 第 3 位 3000m 第 2 位 マススタート 第 2 位
ス キ ー	小原 健汰	日本大学山形高校 2 年	平成23年度全国高等学校総合体育大会 第61回全国高等学校スキー大会 男子大回転 優 勝
"	深瀬 悟志	山形市立第四中学 3 年	平成23年度全国中学校体育大会 第49回全国中学校スキー競技大会 男子回転競技 優 勝
水 泳	大久保琳太郎	米沢市立第四中学校 3 年	第51回全国中学校水泳競技大会 100m平泳ぎ・200m平泳ぎ 優 勝
"	渡部 太一	酒田市立第六中学校 3 年	第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 13～14歳男子 50m平泳ぎ・100m平泳ぎ・200m平泳ぎ 優 勝
"	西脇 怜奈	鶴岡市立鶴岡第一中学校 3 年	第51回全国中学校水泳競技大会 200m背泳ぎ 優 勝 アジアエージグループ大会 200m背泳ぎ・400m個人メドレー 優 勝
"	長谷川 鼓	鶴岡市立鶴岡第三中学校 3 年	第51回全国中学校水泳競技大会 400m自由形 優 勝
"	須藤 美里	天童市立第四中学校 1 年	第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 11～12歳女子 50m背泳ぎ 優 勝
"	小関也朱篤	日本体育大学 2 年	第87回日本学生選手権水泳競技大会 男子800mリレー 優 勝
水 球	長沼 敦	県水泳連盟	第14回世界水泳選手権大会 出 場 ワールドリーグ アジア大洋州ラウンド 第 3 位
"	曲山 紫乃	県水泳連盟	WATER POLO JAPAN CHALLENGE 2011 優 勝
"	三浦里佳子	日本体育大学 4 年	第87回日本学生選手権水泳競技大会水球競技 WATER POLO JAPAN CHALLENGE 2011 優 勝
"	近野 洋平	日本体育大学 1 年	第87回日本学生選手権水泳競技大会水球競技 WATER POLO JAPAN CHALLENGE 2011 優 勝
カ ヌ ー	荒木 琢磨	県立谷地高校 3 年	第 7 回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 男子カヤックペア 200m 優 勝
"	白田 駿	県立谷地高校 2 年	第 7 回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 男子カヤックシングル 1000m カヤックペア 200m 優 勝
"	佐藤 藍	県立谷地高校 3 年	平成23年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技 女子カヤックペア 200m 優 勝
"	早坂 茜音	県立谷地高校 3 年	平成23年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技 女子カヤックペア 200m 優 勝
"	安達 楓香	県立谷地高校 2 年	第 7 回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 女子カヤックシングル 200m 優 勝
"	早坂 枝里	県立谷地高校 2 年	第 7 回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 女子カヤックペア 500m 優 勝
"	斉藤 光里	県立谷地高校 2 年	第 7 回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 女子カヤックペア 500m 優 勝
"	山形県立谷地高等学校女子カヌー部		平成23年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技 女子カヤックフォア 200m・500m 優 勝
"	三澤 涼太	西川町立西川中学校 3 年	JOCジュニアオリンピックカップ 平成23年度全国中学生カヌー大会 カヌースプリント 男子 カヤックシングル500m・カヤックペア 500m 優 勝
"	松田 廉	西川町立西川中学校 3 年	JOCジュニアオリンピックカップ 平成23年度全国中学生カヌー大会 カヌースプリント 男子 カヤックペア 500m 優 勝
"	西川町立西川中学校男子カヌー部		JOCジュニアオリンピックカップ 平成23年度全国中学生カヌー大会 カヌースプリント 男子 カヤックフォア 500m 優 勝
陸 上	齋藤 早希	県立鶴岡中央高校 2 年	JOCジュニアオリンピックカップ 日本ジュニア・ユース陸上選手権大会 第 5 回日本ユース陸上競技選手権大会 女子 砲丸投げ・円盤投げ 優 勝
ホ ッ ケ ー	今野華瑠香	東海学院大学 4 年	第33回全日本学生ホッケー選手権大会 (最優秀選手賞) 優 勝
バスケットボール	阿部 愛美	山形大学 4 年	第26回 ユニバーシアード競技大会バスケットボール競技会 出 場
"	山形銀行ライヤーズ		第44回全日本実業団バスケットボール競技大会 優 勝 高松宮杯第44回全日本実業団バスケットボール選手権大会 優 勝
トランポリン	忠鉢 怜香	山形市立第十中学校 3 年	第39回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会 ダブルミニトランポリン競技 中学生女子の部 優 勝 第21回世界年齢別トランポリン競技選手権大会 ダブルミニトランポリン競技 15～16歳女子の部 出 場
"	鈴木 楓	山形市立第十中学校 2 年	第21回世界年齢別トランポリン競技選手権大会ダブルミニトランポリン競技 13～14歳女子の部 出 場 第 9 回全日本ダブルミニトランポリン競技選手権大会 優 勝
"	三浦 雪乃	山形市立第一中学校 1 年	15～16歳女子の部 優勝 オープン女子の部 優勝 女子の部 (最優秀選手賞) 第21回世界年齢別トランポリン競技選手権大会 出 場 ダブルミニトランポリン競技 11～12歳女子の部



平成23年度 山形県

表彰式は、山形県スポーツ賞と併せ

奨励賞

種目	氏名	所属	主な成績
水球	齋藤 利樹	山形市役所	第62回(2011年度)日本実業団水泳競技大会 ぎふ清流国体(競泳)リハーサル大会 年齢別 30歳以上の部 50m平泳ぎ・100m平泳ぎ 優勝
陸上	加藤 啓一	山形陸上競技協会	第32回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 M65 2000m障害 (日本新記録) 優勝
体操	御供 妙子	山形陸上競技協会	第32回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 W75 やり投 優勝
レスリング	友野 透	酒田RG	第19回全日本社会人新体操選手権大会 男子2部 個人総合 優勝
	設楽 卓	山形市役所	第11回全日本マスターズレスリング選手権大会 35~40歳 69kg級 優勝
	河合 享	山形市消防署	第11回全日本マスターズレスリング選手権大会 41~45歳 55kg級 優勝
	鈴木 芳晴	マミークリーニング	第11回全日本マスターズレスリング選手権大会 51~55歳 58kg級 優勝
	大澤 健夫	郵便事業株式会社	第59回全日本社会人選手権大会 マスターズの部A 96kg級 優勝
	太田 優	山形市スポーツ振興事業団	第59回全日本社会人選手権大会 マスターズの部A 120kg級 優勝
卓球	杉山 鉄夫	県卓球協会	平成23年度全国ラージボール卓球大会 男子シングルス80歳 優勝
	佐藤 珠希	県立山形聾学校	第56回全国教職員卓球選手権大会 女子フォーティシングルス 優勝
	山形県教職員女子シニアチーム		第56回全国教職員卓球選手権大会 女子シニア団体(4連覇) 優勝
トランポリン	舟越 愛実	上山市立上山小学校2年	第39回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会 ダブルミニトランポリン競技 小学生低学年女子の部 優勝
剣道	佐藤 祐歩	鶴岡工業高等専門学校4年	第45回全国学生剣道優勝大会 女子 法形競技・実戦競技 (最優秀選手賞) 優勝
	齋藤 元文	県立鶴岡南高校1年	第30回全国高等学校剣道優勝大会 男子法形競技 (優秀選手賞) 優勝
	佐藤 美侑	県立鶴岡中央高校1年	第30回全国高等学校剣道優勝大会 女子法形競技 優勝
	丸山 暢	鶴岡市立鶴岡第三中学校3年	第33回全国少年少女剣道優勝大会 中学生男子実戦競技 優勝
	築川 朗大	米沢市立南原中学校3年	第33回全国少年少女剣道優勝大会 少年上階法形競技 優勝
	山形県Aチーム		第33回全国少年少女剣道優勝大会 少年少女団体系形競技 優勝

平成23年度 スポーツ功労者 (県体協関係)

◆山形県体育協会表彰

◇功労賞(市町村体協・競技団体推薦)

結城 武則(天童市) 原田 一廣(中山町) 西田 克(平田町) 石黒 均(平田町) 長沼 千歳(水泳)
矢萩 治男(陸上競技) 武田 憲一(バレーボール) 齊藤 友美(体操) 石山 昇(バスケットボール) 亀岡 剛(卓球)
佐藤 精一(野球) 齊藤 勘雄(ソフトボール) 小林 保夫(バドミントン) 大沼 茂幸(剣道) 太田 弘(山岳)
故・土田 昭五(グラウンド・ゴルフ)

◇功労賞・ライオンズスポーツ賞(競技団体推薦)

田代 祐一(水泳) 開沼 清秋(水泳) 木村 文浩(カヌー) 橋本 佳久(カヌー) 福島 雅人(バスケットボール)

◇感謝状(市町村体協・競技団体推薦)

加藤 玲宗(鶴岡市) 後藤 仁(平田町) 岡崎 紘一(馬術)

◇特別賞

山形市立商業高等学校女子バスケットボール部

全国的に普及しているバスケットボール競技において、国体・全国高校選抜の2大会で連続して準優勝を果たした功績は大きく、最後まで全力を尽くすプレー姿勢は県民に多くの感動を与えてくれた。

◆山形県スポーツ少年団表彰

◇功労者

松木 俊和(山形市) 安達 正一(寒河江市) 石塚 悦雄(朝日町) 奥山政四郎(東根市) 柏倉 政男(新庄市)
寒河江寿樹(川西町) 横澤 芳一(長井市) 富樫 博(鶴岡市) 西田 克(酒田市) 土門 満(酒田市)

◇優良団

寒河江中部小コンドルズスポーツ少年団(寒河江市) 葉山バレーボールスポーツ少年団(村山市)
常盤スポーツ少年団(尾花沢市) おおくら少女バレーボールスポーツ少年団(大蔵村)
小松ホッケースポーツ少年団(川西町) 荒砥地区スキースポーツ少年団(白鷹町)
京田女子ミニバスケットボール少年団(鶴岡市) 大宝寺スターファイブスポーツ少年団(鶴岡市)
東栄スポーツ少年団(鶴岡市) 大泉ホークス野球スポーツ少年団(鶴岡市)

クラブ通

熱い汗・温かい温泉・おいしいお酒

あつみスポーツクラブネクサス

クラブマネジャー 五十嵐 久美子

平成十九年二月に、鶴岡市立温海中学校区に設立になった「あつみスポーツクラブネクサス」の活動の一部を紹介させていただきます。

発足以来五年の月日が流れようとしている中で感じることは、当クラブが設立される前よりかなりスポーツ人口が増えたことに加え、スポーツ・運動への関心が高まってきていることです。それまでは、スポーツや運動は限られた人がするものとして捉えられていたように思います。みんなのスポーツへの第一歩になったのではないかと喜んでおります。

また、当クラブの目玉のメニューとなっているのがラージボール卓球です。その魅力の多いことが、年々愛好者が増え続けていることを証明していると思います。温海地域でも以前は卓球愛好者も多く活動も活発に行なわれておりましたが、最近では停滞ぎみにあったその愛好者が、ネクサスの設立に合わせて卓球にリターンしてくれました。その人の繋がりが原動力となって、手づくりの「温泉卓球inあつみ大会」が開催できるようになりました。参加者約三〇〇名が一堂に会しての大懇親会は、全国的にも例のない地域貢献(?)として自負しているところです。スポーツがただ健康や仲間づくりにとどまらず、明るく元気な地域づくりに繋がる喜びを感じながら、みんなで手を繋いで進んで行きたいと思っています。



競技団体ニュース

国際大会・全国大会での上位入賞を目指して

山形県レスリング協会

会長 三 沢 正 昭

本協会は昭和二十七年八月発足以来、県内関係のオリンピック出場者は、メルボルン大会金メダル獲得の笹原正三氏をはじめ六名にのぼり、全日本選手権優勝者は七名、国民体育大会優勝者は成年の部九名、少年の部二十三名、インターハイ優勝者は九名を輩出しております。(同一人物複数回優勝も一名とカウント) 奇しくも今年はロンドンオリンピックイヤーとなり、本県出身の鶴巻幸選手が出場権獲得に向けて奮闘中であります。是非ともオリンピックに名を連ねるところです。

さて、本協会も少子化の波を受け、競技人口の減少に悩んでいるところではありますが、県内四つの少年少女レスリングクラブの幼・小・中学生が、将来のオリンピック選手を目指して日々活動に励んでおります。また、高校生においても全国チャンピオンを目指して部活動に励むとともに、社会人の全国大会にも毎年二十名程度参加しております。

向上無限の合言葉のもと、今後とも国際大会や各種全国大会での上位入賞を目指して取り組んで参りたいと思いますので、ご支援・ご声援の程宜しくお願いいたします。



限らない「夢」へのチャレンジ

寒河江市スポーツ少年団副部長(寒小スラッガーズスポーツ少年団)

ジュニアスポーツ指導員 卯月 吉彦



私は、子供のころからスポーツが大好きで、中・高・社会人と野球道を歩みました。指導者へのきつかけは、十五年前、地域の役に立ちたいと思料していた時、当スポーツ少年団の現監督である佐藤淳二氏から声を掛けられたのが始まりでした。

小学生への指導で一番難しいと思っていることは、指導者の言葉全てを素直に受け入れることです。選手の将来を左右させてしまうのではないか、それぞれの選手に適切にアドバイスできているのか、常に不安があります。しかし、子供には限りない「夢」があり、歴史のページを共に歩んでいることが最高の喜びでもあります。

当団活動は、地域貢献を掲げ、毎年、寒小学区等のクリーン作戦を親子で実施していますが、地域と小学校および母集団に支えられ楽しい野球ができること、感謝の気持ちを子供に理解させるためです。また、野球だけでなく、親子によるバーベキューやボウリング大会等レクリエーションも多く取入れ、野球を通しての親子の「ふれあい」をも重視しています。

最後に、私のモットーは、「夢をつかむための体と心」の育成です。将来、夢へチャレンジするための基本と基礎作りです。当団から、メジャーリーガーが誕生し、アメリカの広いスタジアムで大声を出し応援することが、私の「夢」でもあります。



豊かなスポーツ文化の創造を目指して

金山町体育協会

会長 鈴木 洋

本協会は、昭和五十三年に町民の体位向上と体育の振興、強化を図り、スポーツ精神の高揚を目指し設立されました。

以後三十余年にわたり、町民のスポーツ振興や健康づくりの中核組織として、様々なスポーツ活動並びに地域活動に取り組んできました。

しかし、少子化や高齢化などにより、地域観や社会観が多様化し、組織としての地域力が低下しはじめ、全地区が以前のような統一した価値観や意識の下での取り組みが困難になってきております。

今後、スポーツを通しての地域づくりのあり方も、再検討が必要な時期が来ると感じております。

こうした中、当町では、平成十四年に「金山健康ふれあいスポーツクラブ」(総合型地域スポーツクラブ)が設立され、参加拡大を図りながらスポーツの振興・町民の健康体力づくりに取り組んでおります。

今後は、「金山健康ふれあいスポーツクラブ」を中心として各組織が一丸となり「新しい取り組み」に積極的に取り組んでいきたいと考えております。



第61回全国高等学校スキー大会

蔵王を会場に開催

「燃える闘志 光る努力 蔵王の樹氷をかけぬけろ！」をスローガンに平成24年1月30日から2月3日の日程で「第61回全国高等学校スキー大会」が、山形市蔵王温泉スキー場を会場に開催された。

13年ぶり6回目に当たる本県開催となった本大会は、全国の頂点を目指す高校生トップアスリート1,450名が蔵王に集結した。

本県の成績は、アルペン競技男子大回転で小原健汰選手（日大山形2年）が優勝、ほかに入賞が4名という結果であった。

2年後に第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会が本県で開催されるが、更なる飛躍を期待する。



第9回全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会開催

平成24年3月24日から27日までの4日間、本県鶴岡市において東北では初めて「第9回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会」が開催されることとなった。

東日本大震災の影響により、当初開催を予定していた宮城県での開催が困難となったことから、県及び鶴岡市スポーツ少年団関係者が開催に名乗りを上げ、急遽本県での開催が決定した。10月14日に山形県実行委員会を設立し、大会開催準備を進めている。

大会の概要

女子は各都道府県より1チームと開催地より1チームの計48チームが予選のリーグ戦及び決勝トーナメント方式で、男子は全国9ブロックより代表1チームと開催地より1チームの計10チームがリーグ戦及び決勝戦を行い、バレーボールを通じて団員相互の交流を深める。

【期 日】《女子》3月24日～27日 《男子》3月24日～26日

【会 場】鶴岡市小真木原総合体育館、鶴岡市藤島体育館、鶴岡市羽黒体育館、鶴岡市櫛引スポーツセンター

【参加者】《女子》48チーム 595名（団員 464名）（指導者 131名）

《男子》10チーム 119名（団員 93名）（指導者 26名）

《関係者及び応援者等》1,000名程度

東京圏東部でアパートを借りる際は当社へどうぞ！

東京駅から40分、総武線東船橋駅前 (有)東船橋不動産
千葉県船橋市・創業34年

TEL 047-424-7200 <http://www.chintai-center.co.jp> 水・木曜定休

大江町出身
鈴木 隆

対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

保 険 期 間 平成24年4月1日午前0時より平成25年3月31日午後12時まで(申込受付は平成24年3月から)

加入区分・掛金・補償金額 掛金が改定されました (団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれ選択のうえご加入ください。)

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭費用保険 支払限度額 (免責金額なし)
				死 亡	後遺障害 賠償	入 院	通 院		
子ども (中学生以下 (特別支援学校 高等部の 生徒を含む。))	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中およびその往復中の補償 下段：上記以外(個人活動など)の補償	AW	1,450円	2,100万円 (集中症および低酸素・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同額) 100万円 (集中症および低酸素・ウイルス性食中毒は対象とはなりません。)	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
大人 (高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。)	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	子どものスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円

※同一団体で1人しか加入できません。中途加入する場合、中途退団する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入退、加入区分の変更はできません。

※危険度の高いスポーツ活動は区分以外で補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。 Web スポーツ安全協会 検索

法人 スポーツ安全協会 山形県支部
(山形県体育協会内)

〒990-2412 山形市松山2丁目11番30号 TEL 023-642-8321 電話受付時間 午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)

傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険

